

日本ファシリティマネジメント推進協会編「オフィスのユニバーサルデザインに向けて」

オフィスUDの指南書として

ワークスペースのユニバーサルデザインが注目されつつあります。より使いやすいオフィス環境とすることで、高齢者などを含む、様々なワーカーにとっての高い満足度と生産性をもたらすことが期待されています。本書は、JFMAユニバーサルデザイン研究会がこの2年間行ってきた調査研究をまとめたものです。オフィスのユニバーサルデザインに関する理論、調査研究、導入の手法、ガイドライン、調査結果、企業事例を豊富に掲載しています。是非、オフィスをより使いやすく魅力的なものとするために、ご活用いただきたいと思えます。

ワーカーと経営者の幸福のために（発刊趣旨）

これまでワークスペースの対象ユーザーは、平均的なワーカーいわば「ミスター・アベレージ」が想定されてきた。バリアフリーが導入されてきた公共空間と比較しても、ワークスペースでは女性や、高齢者、身障者、日本語を話さない人を含む広範囲で多様なワーカーへの配慮が、これまで十分なされてきたとは言えない。ワークスペースは市場経済における企業活動を遂行するための「強者の場」であった。

しかしながら、社会の超高齢化、グローバル化社会、工業社会から知識社会への移行とともに、既に一部の多国籍企業に見られるように、グローバル化・多様化するマーケットの中での優位を保つためのワークフォースとしても、ワーカーの単一性よりもダイバーシティ（多様性）を求める動きも見られる。企業経営的観点から、広範囲なワーカーを寛容するユニバーサルデザインが注目されているのだ。ワーカーの単一性によって立つ強さよりも、多様性や長期的視点に立脚した真の組織の強度が求められているのである。また近年の企業社会責任（CSR）企業イメージ、企業価値への指向も、ユニバーサルデザインと方向性を同じくするものである。さらに近年、我が国では、自治体等による企業の障害者雇用率公表の動き、2002年のハートビル法改正で、オフィスビルに対して一定のバリアフリー化を努力義務が求められるなど、社会面・制度面からも「ミスター・アベレージのための場」としてのワークスペースに対して変更を求める動きも見逃せない。

こうした状況認識のもと、2003年7月、社団法人日本ファシリティマネジメント推進協会（JFMA）は、ユニバーサルデザイン研究部会（部会長：似内志朗）を設置し、ワークスペースにおけるユニバーサルデザインの可能性を検討してきた。私たちが直面する新しい時代に備え、ユニバーサルデザインが経営者とワーカーにとって、どのような価値を持つのかを明らかにするとともに、ワークスペース整備のためのガイドをつくりたいと考えた。

私たちは、「ファシリティマネジメント(施設経営)の視点からユニバーサルデザインを考える」というスタンスを取っている。学術的であるより実地的であること、厳密性にこだわり対象を限定するより、網羅的で大きな方向性を示すものであることに努めている。また、「社会はかくあるべき」といった「べき論」からも距離を取っている。私たちはユニバーサルデザインが今後、ワークスペースに導入され、より多くの人々が、高い質の職業人生（QOWL=Quality of Work Life）を送ることを望んでいる。しかし、本書の目的はユニバーサルデザインの推進そのものではなく、ワークスペースにおけるユニバーサルデザインの価値を明らかにし、導入のための道具立てを用意することである。主役はワークスペースをマネジメントする経営者であり、ワークスペースを使うワーカーである。二つの主役へWIN-WINの関係をもたらす「触媒」の役割を果たすことができればと考えている。



市販はしていません。下記へお問い合わせ下さい。

申し込み先

〒104-0033

東京都中央区新川2-3-9 新川第2ビル6階

社団法人 日本ファシリティマネジメント推進協会

TEL: 03-3523-2031

FAX: 03-3555-1031

価格 3500 円。お届けの場合は送料(500 円)別途。

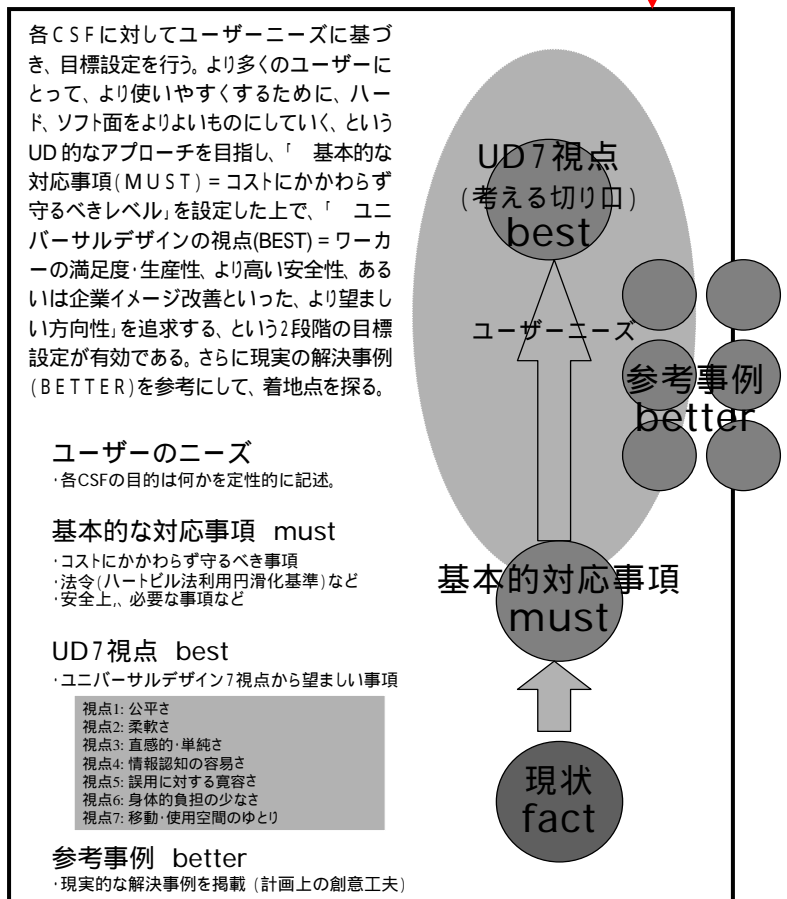
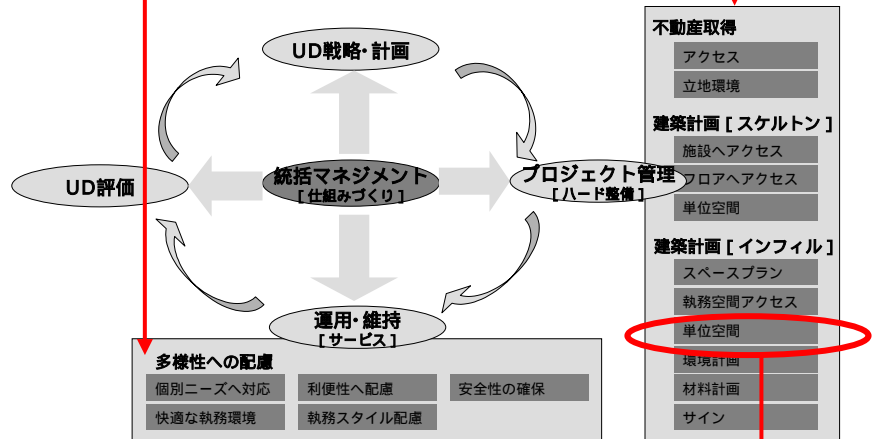
報告書の構成 (ガイドライン)

報告書は、調査研究 (第1章) とガイドライン (第2章) からなっている。ガイドラインはFM基本業務サイクルの中で、プロジェクト段階・運営維持段階において、UDを実践するために不可欠な重要事項 (CSF) を抽出する。

プロジェクト管理 ~ 30 のCSF

- 1 不動産取得段階
 - 1-1 立地条件へのアクセス
 - CSF1-1-1 公共交通機関
 - CSF1-1-2 敷地までのアクセス
 - 1-2 施設の立地環境
 - CSF1-2-1 利便性
 - CSF1-2-2 安全性・快適性
 - CSF1-2-3 敷地固有条件
- 2 建築計画 (スケルトン) 段階
 - 2-1 施設へのアクセス
 - CSF2-1-1 敷地出入口
 - CSF2-1-2 敷地内通路
 - CSF2-1-3 駐車場
 - CSF2-1-4 駐車場からの歩道
 - CSF2-1-5 車寄せ
 - 2-2 フロアへのアクセス
 - CSF2-2-1 建物の出入口
 - CSF2-2-2 エントランスホール
 - CSF2-2-3 受付
 - CSF2-2-4 廊下
 - CSF2-2-5 階段
 - CSF2-2-6 エレベーター・エスカレーター
 - 2-3 単位空間
 - CSF2-3-1 トイレ
 - CSF2-3-2 湯沸室
- 3 建築計画 (インフィル) 段階
 - 3-1 スペースプランニング
 - CSF3-1-1 ゾーニング
 - CSF3-1-2 レイアウトニング
 - 3-2 単位空間
 - CSF3-2-1 ワークステーション
 - CSF3-2-2 業務支援空間
 - CSF3-2-3 情報管理空間
 - CSF3-2-4 生活支援空間
 - 3-3 環境計画
 - CSF3-3-1 熱環境
 - CSF3-3-2 光環境
 - 3-4 内装計画
 - CSF3-4-1 色彩計画
 - CSF3-4-2 有害物質の抑制
 - CSF3-4-3 内装仕上げ・室内建具
 - 3-5 サイン
 - CSF3-5-1 サイン
- 運営維持 ~ 5 のCSF
 - 4-1 多様性への配慮
 - CSF4-1-1 個別ニーズへの対応
 - CSF4-1-2 快適な執務環境の整備
 - CSF4-1-3 利便性への配慮
 - CSF4-1-4 執務スタイルへの配慮
 - 4-2 安全性の確保
 - CSF4-2-1 安全性の確保

- 第1章 ワークプレイスのUD
- 第2章 UDの実践
 - PART1 戦略・計画
 - PART2 プロジェクト管理
 - PART3 運営維持
- 第3章 UDの現状 [各種調査結果]
- 第4章 JFMA - UDの活動と今後
- 第5章 資料



J F M A 調査研究委員会 ユニバーサルデザイン研究部会
足立研、市川陽子、落合孝則、小町利夫、塩川完也、
曾川大、仲田裕紀子、似内志朗、成田一郎、萩野仁美、
堀口かおり、森山政与志





オフィスのユニバーサルデザインに向けて



第1章 ワークスペースのユニバーサルデザイン

第2章 ユニバーサルデザインの実践

Part 1 戦略・計画

Part 2 プロジェクト管理

Part 3 運営維持

第3章 ユニバーサルデザインの現状 [各種調査]

第4章 研究部会の活動と今後

第5章 資料

JFMA

社団法人 日本ファシリティマネジメント推進協会
ユニバーサルデザイン研究部会 [JFMA-UD]